

草の根通信

< 2004.12.20 >
Vol.44

URL: <http://www.manjiro.or.jp>

財団法人 ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター

住所: 東京都千代田区麹町2丁目12-18
グランアクス麹町 602号室

電話: 03 3511 7171 // Fax: 03 3511 7175

E-mail: info@manjiro.or.jp

第15回日米草の根交流サミット東海大会おしらせ

第15回日米草の根交流サミット東海大会

第15回日米草の根交流サミットは東海地域(愛知・岐阜・三重)で開催されます。

地域分科会では10の地域に分かれ、各地の特色ある魅力を盛り込んだプログラムを用意しています。2泊3日間ホームステイをしながら日本の家庭・生活を体験し、地元の人と交流を深めて頂くとともに、外国人の新鮮な目から受け入れ地域の新しい魅力の発掘も期待しています。

東海地域はとりわけ製造業が集積しており、最先端技術産業や伝統的なものづくりの見学や体験ができます。また、山や川・海といった自然にも恵まれているため、食や自然、また長い歴史の中で育んだ文化などもテーマに設け、広く地元の魅力を紹介します。



江戸時代のお寿司を再現



常滑のやきものの散歩道

東海大会 開催3県

岐阜県

山や川など豊かな自然に恵まれた地域で、北部の飛騨地域は標高3000mを超える山々が連なり、南部の美濃地域は木曾三川が流れ、特に長良川中流域は「日本の名水百選」に選ばれるほど美しい清流です。

岐阜で有名なのは関の刃物や鶺鴒い他、歴史文化の息づく街飛騨高山では合掌造りの家や豪華な山車祭りなどが有名で、美濃地域では美濃焼き・美濃和紙が有名です。

愛知県

日本のほぼ中心にある愛知県は長い歴史を通して東西南北の要所として栄えました。温暖な気候で知られ、太平洋と緑の山々に囲まれた豊かな地域です。歴史的・文化的資産に恵まれ、繊維産業や窯業、自動車産業、航空宇宙産業といった多くの製造

業の中心地でもあります。2005年日本国際博覧会「愛・地球博」が「自然の叡智(えいち)」をテーマに2005年3月25日から185日間開催され、中部国際空港「セントレア」も開港し、ますます活発化していくでしょう。

三重県

京都や奈良に近い三重の歴史は古く、2000年の歴史を有する伊勢神宮には昔から多くの人々が訪れ、歴史文化の豊かな地域です。例えば三重の北西部伊賀は忍者発祥の地で、俳句の

松尾芭蕉の出身地でもあります。多くの自然公園を有し、海・山・川の大自然が四季折々の多彩な表情で訪れる人を楽ませています。

開催日程

6月22日(水)	セントレア空港(常滑)到着	グランコート・ホテル宿泊
6月23日(木)	「愛・地球博」見学 オープニング・セレモニー、ウェルカム・パーティー	
6月24日(金)	地域分科会	グランコート・ホテル宿泊
6月25日(土)	地域分科会	ホームステイ
6月26日(日)	クロージング・セレモニー、フェアウェル・パーティー	ホームステイ
6月27日(月)	京都フリータイム	グランコート・ホテル宿泊
6月28日(火)	帰国、またはオプション・プログラム	京都泊



地域分科会

愛知県 Aichi

名古屋 Nagoya

「東海地域の中心・
日本の元気都市」

強い製造業が経済的に取り上げられるだけでなく、名古屋嬢・名古屋名物などでも近年メディアに注目されている、日本の元気都市名古屋では伝統工芸の有松絞りから人型ロボットまで、幅広いものづくりをテーマに分科会を行ないます。



犬山 Inuyama

「木曾川の流れに古城が映える
- 歴史と自然が融合する街」

まちづくりや観光、教育の分野でも注目される犬山市では、国宝犬山城や博物館明治村、木曾川の鵜飼いななど犬山の豊かな歴史文化と自然を体験していただきます。



半田 Handa

「港町に栄えた日本の食文化、
酢とお寿司」

世界中でもポピュラーな料理となっているお寿司。現在の寿司の発祥の地半田で、江戸時代の復元寿司「尾州早ずし」や、健康食品としても注目されるお酢をテーマに分科会を行ないます。



特別分科会

Special Session

「黒澤明を考える」

黒澤明監督の初監督作品『姿三四郎』の舞台が、当時そのままの風景で残る地で、黒澤明をテーマにした分科会を行ないます。

常滑 Tokoname

「世界に開く焼き物の街」

道などに常滑焼きを埋め込んだ「やきものの散歩道」や「タイル博物館」のある古い焼き物の歴史を持つ街常滑。中部国際空港セントレアの開港で新しい日本の玄関口となり、ますます豊かな文化を築いて行きます。



豊田 Toyota

「トヨタ自動車と
自然・歴史の生きる街」

自動車の街、豊田ではトヨタ自動車の工場やミュージアムの見学その他、矢作川や森の豊かな自然を体験して頂きます。

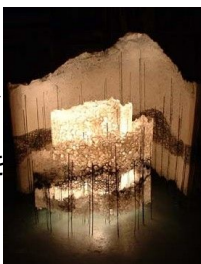


岐阜県 Gifu

美濃 Mino

「陶芸と和紙づくり体験」

この分科会では陶芸家の工房での美濃焼づくりの他、美濃和紙会館での和紙づくりなど、古い歴史を持つ伝統技術を体験することができます。



高山 Takayama

「歴史息づく街並と伝統産業」

歴史的な美しい家々と、伝統工芸が息づく高山では、情緒ある街並を散策して頂いたり、豪華な山車の見学や工芸体験など、日本の伝統を堪能していただけます。



三重県 Mie

伊賀 Iga

「忍者と俳句の里」

山々に囲まれた街伊賀は伊賀忍者の里であり、松尾芭蕉の故里でもあります。ここではアメリカでも有名なNinjaやHaikuをテーマに分科会を行ないます。



愛知県 Aichi

田原 Tahara

「風がつくる技術と文化
- 風土に根ざした木造建築」

渥美半島の中腹にあり風が強い街、田原ではその風を利用したサーフィンや喧嘩凧、風力発電の他、強風に耐えるよう独特の工法の木造建築がある。風土に根ざしたその木造建築をテーマに分科会を行ないます。



津島 Tsushima

「お寺での仏教体験や
茶道体験」

京都よりも社寺の数が多く、喫茶文化が盛んな街、津島ではお寺での仏教体験や、茶道をテーマに日本人の精神を探る分科会を行ないます。

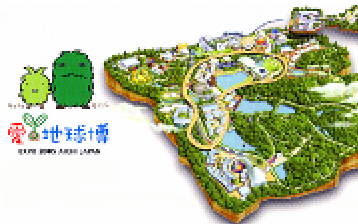


現在・過去・未来を味わう - オープニング、クロージング・プログラム -

「愛・地球博」で地球環境に触れる

サミット開催期間中は、愛知県では国際博覧会「愛・地球博」が開催されており、世界の国々や日本の市町村、企業が参加し様々な展示やイベントが盛大に催されています。アメリカ人参加者の皆様はオープニングの日に会場見学を予定しています。

最先端の技術が盛り込まれ、メインテーマに「自然の叡智」を、またサブテーマの1つに「循環型社会」を掲げ次世代へのアプローチを積極的に展開している万博会場で、時代の最先端、ひいては未来を体験・発見して頂きたいと思ひます。



愛知万博（愛・地球博）

トヨタ産業技術記念館・ノリタケの森の見学

愛知万博見学後、ノリタケの森へ移動し、見学し、トヨタグループの産業技術記念館も見学します。そして産業技術記念館でオープニング・セレモニーとウェルカム・パーティーを行う予定です。本物の機械の動態展示や実演・映像などから、自動織機・自動車という日本の近現代を象徴する産業を分かりやすく見ることで、万博会場の最先端技術につながる東海および日本の近現代における産業や技術の変遷を体験できます。



産業技術記念館

郷愁を覚えるクロージング・セレモニー

愛知県犬山市で開催します。犬山市は伝統的な街並や山車祭といった豊かな文化・歴史を誇る街です。アメリカ人参加者の方々には国宝犬山城や国宝茶室如庵などの見学をした後、歴史文化博物館「明治村」を散策します。



明治村内教会



旧帝国ホテル内部

海外の文化・科学が日本に大きなインパクトをあたえた安土桃山、明治の時代の日本の歴史をたどりながら、アメリカの世界的建築家フランク・ロイド・ライト氏の代表作旧帝国ホテルでクロージング・セレモニーをむかえます。日本美術の愛好家で浮世絵などに強い関心を持っていた彼の建築には、低くならかな傾斜の屋根、深い軒先、内と外をつなぐ開口部など日本建築に共通する特徴があります。また、明治村には西洋建築の影響を受けた多くの洋風建築があり、これらの美しい建物は外国との交流から生まれる文化を語ってくれます。

この場所に、アメリカ人参加者、ホームステイファミリー他地域の人々、サミット関係者が一同に会し互いの絆を深めて頂きたいと思ひます。日米の市民がつくる新たな絆が21世紀を築いていくことでしよう。



移築した旧帝国ホテル

最先端技術と歴史

オープニングで万博という時代の最先端の技術・文化に触れることにはじまり、産業技術記念館で現代につながる近代を振り返り、クロージングの犬山では海外との接点・交流から日本の歴史をたどることで、より深く東海地域の魅力を体験して頂きます。

旧交深めるオプション・プログラム

この大会の特徴でもある、過去にサミットを開催した地、8つの都市でのオプション・プログラムを用意しています。希望者が過去開催地を訪れることで旧交を温めたり、たくさんの素敵な思い出をつくって頂けると確信しています。

NPO法人京都国際交流ネットワーク

京都で活躍している中山貴恵さんは第1回日米草の根交流サミットから毎回参加し、日本で開催する時にはボランティアとして活躍しています。

今年度、中山さんを理事長として設立したのが京都国際交流ネットワークで、当財団と連携して国際交流を促進しています。今号では京都国際交流ネットワークを紹介します。

京都国際交流ネットワークでは、言葉、文化、生活や考え方の異なった国内外の日本人や外国人が、様々な文化交流を通じてお互いを理解し、友好を深めあうことで、国際協力の重要性や有効性を認識し、国際的な強調性を持ってもらえるように尽力、支援しております。

また、地域に密着し、その土地の特色を生かした異文化体験プランを作成、実施すること



2004-05-30

平家琵琶弾き語りコンサート&ワンポイント英会話レッスン
京都市立春日丘中学校いきいきチャレンジ体験受け入れ

によって、より草の根レベルからの交流が可能となり、まちづくりの推進にもつながると考えております。

加えて、児童や学生といった次世代を担う人材の育成や、それらを教育する側の人間への、各種教授技能向上のための研修なども行っていくことによって、社会教育や学術の推進に寄与することも当法人の大きな目的の一つです。

他人を思いやる気持ちを育て、常に受身ではなく自分から発信できるような子供を育てる土壌を作ることこそが、これからの児童教育に必要であると考えているからです。

知らない国の知らない人が出会い、お互いの共通点や違いを知り、理解をし、知ってる国の知ってる人になっていく。ほんの一部ではあっても、相手や外国を知ろうと意識を持つことで自分を、又、自分の国を知り、前向きに行動を起こすきっかけになれば、もうそれで立派な国際交流ではないでしょうか。

興味をもたれた方は、是非お気軽にご連絡ください。

Tel / Fax

075 - 572 - 2022

E - mail

kokusai-net@kyoto.zaq.ne.jp

URL

<http://kyoto-net.web.infoseek.co.jp/>



2004-10-31

江古花園灯りまつり
琵琶演奏企画「ありがとう青垣 また来て丹波」

編集後記

現在東海大会へ向けて準備が着々と進められています。3月の募集締め切りまであと3ヶ月となり、参加申し込みも少しずつ集まってきています。またコロラドのシャイアン・マウンテン高校のプラスバンドから約50名が参加する予定で、クローージング・セレモニーでは彼らの演奏を聴くことができそうです。

第16回日米草の根交流サミット・コロラド大会の開催へ向けても準備が進められています。その詳細は次号で紹介します。

英語のホームページは下記の通りです。
(Center for International Exchange-US)

<http://www.manjirosammit.org>

季刊コラム「しなやかに戯言」

作家、医師、政治家、教師

所謂、「先生」たちが突如汗かき走り出す十二月

散歩中、高校の前を通ると練習している野球部員の姿。寒空の下流れる汗、夢見るは、遙か遠くの鶯の絡まる甲子園。そんな彼等の挨拶も『チワッス！』から『シワッス！』へ。

そんな12月。

何かと忙しいこの季節、汗かいてますか？

毛穴に詰まった老廃物を爽やかに内側から洗い流し、お風呂へGO！
レッツ、リラックス。

乾燥しているこの時期だからこそ汗で潤いを。
寒いこの時期だからこそ、熱くなりましょう！



寄稿者：夏川雄介(第14回ニューイングランド大会参加者)